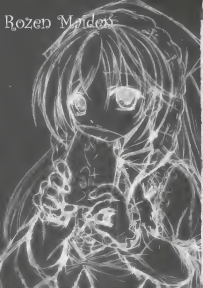

jade stern
medium


Rozen Maiden


メガネ小僧!
根性無し!
役立たず!
ちびっ!
お前なぁ 食いたい放題 食いやがって
本当の事ですぅ
そもそも 何が気に食わないんだよっ
訳分かんないぞ!
言ってもジュンには 分からないですっ
なっ なんだよそれっ
ミニマムサイズの 脳みそで考え やがれですぅ



真紅のワガママの方がまだマシだぞ
この悪魔人形がッ
真紅
真紅…しんく
そんなに真紅がいいなら
…の……
翠星石…？
どうして翠星石と契約したですか
翠星石だって
翠星石だってぇ



お前…
ジュンが真紅を好きな事くらい
翠星石にだって分かるですぅッ
おっ お前何言ってニッ
ボ・っ ボクが真紅を!?
ジュンは
真紅
るです
な
お前だってボクと一緒にいるじゃないか!
ウソですぅ!


翠星石だって
ジュンと…
ポロ
ジュンと…
ジュン…
ポロ
ドサッ
わぁ
ジュンっ
す…
翠星石
だまれですぅ
人間
ひっく
んっ



これをボクにっ
ぽんっ
そんな物知らないですぅ
ん…
げおっ
そーだですぅ
ったく何なんだよ
なんでだよ
ちょっとだけ
目をつぶるですぅ
いいからつぶりやがれですぅ
これでいいかっ


!!
ちゅっ
ピクッ
ん…
すい…せ…
ちゅっ
やめ…ろ
キィィィッ
んっ
翠星石—
体が動かない
ジュンの一番になるですぅ
えっ
一番？
!
何してるんだ翠星石っ!?
こそこそ


これが ペニス・
変な形ですぅ
何して・・・ッ
うっ
うわっー
ああッ
んっく
口の中で
大きく・・・
うあっ
っーっー
変形しやがったですぅー
大きくなって


でも大きくなるのは
気持ちいい証拠…
ピクン
ピクン
がんばるですぅ
う…あ…
くちゅ
んんっ
こんなに大きくなったら全部入らないですぅ
んっく
す
翠星石 そんなに刺激したら
うっ
うわ
翠星石…ッ
気持ちいいのですかジュン…ッ
うーん
でも
何か
何か出そう・


はぁ
はぁ
!
ちゅう
うわぁッ
きゃあっ
んっはあっ!
う~……
いっぱい
かけられたですぅ
こぅ
ごめんっ
へんな味
くちゅ
ぴちゃ
でもジュンのだから
だから
翠星石は
飲めるですぅ
コクンッ


翠星石がボクの精子を—
ドキ ドキ
ジュン
うわっ
何してんだっ!?
よく見てですぅ—
メロッ
ドールでもちゃんと形はあるですぅ
子供を産んだりはできませんけど
ひとつになれる様に造ってくれたですぅ
くぱっ
だから
翠星石は
ジュンの一番に
翠星石の一番もジュン
クチュ
クチュ
ま
まさか—
おい—っ


ぷるぷる
あ
やめろ翠星石
ん
はぁ
ぐにゅっ
んっんぅ
ちゅぷっ
!!
あっかはっ
ずりっ
メリッ
メリッ
はぁ
もうちょっと
ぐぐっ
はっ


ぷる
ぷる
お腹が裂けるですぅ――
うあぁ
あっ　くぁ――
もういい翠星石ッ
ミチ
ミチッ
やめろ
うあ
やですっ
真紅より
真紅より先に
ずっ
くっ
ずっ
ぢゅく
はあ
翠星石が先に
ずぷ
ジュンのアリスになるですぅ―
ずっ
ああっ
ずっ
んっ

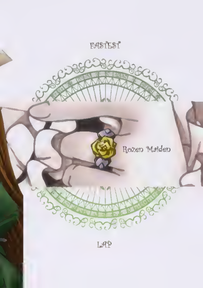

翠星石…
はぁ
ちゅく
はぁ
あ…
お前の気持ち
良く分かったから…
はぁ
ジュン…
はぁ
ちょっとガマン
してくれよな
ずっ
え？
ああ!!
ずっ
あっ
ずっ
ひうっ
ぐちゅ
ジュンっー
ぐちゅ
好きっ
大好きですぅー
ずっ


ボク…
また…
う
じゅぷっ
出してですぅ!
ずっ
ずっ
びくんっ
ふるふる
あっうあぁ
ジュンっ
ぢゅっ
びゅっ



ジュン…
大好き ですぅ
翠星石
パチッ
!!
ガバッ
アイツのカバン
夢だったのか…っ


どんな夢を見たのですぅ？
チビ人間のえっち♪
うわっ
えっちって あれはお前が
!?
って お前まさか!?
まさか何ですぅ？
翠星石には さーっぱり 分からないですぅ♪
ジュンさまへ


FASTEST
Rozen Maiden
LAP